

## 「ダッチオープン料理体験会」

### 1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
10家族 40名	5家族 22名	5家族 22名	22名（大人12名、小学生7名、未満児3名） 福井県5名、京都府4名、岐阜県3名、愛知県6名、富山県4名

### 2. 事業内容（概要）

#### ◆ねらい

- ・「夕日の広場」の炊事設備、トイレ設備のリニューアルオープンを記念し、今後の家族等のグループの利用促進を図るため、ダッチオープン料理の体験会を行う。
- ・家族での自然体験活動の楽しさを普及する。

#### ◆期日・期間

平成31年4月30日（火・祝）＜日帰り＞

#### ◆参加者分析

- ・すでに実施日を含む施設利用を申し込みされていた家族グループに、このイベントの参加を周知したため、参加者は広範囲の府県からおいでいただいた。
- ・ゴールデンウィークに青少年教育施設に宿泊される家族であるため、もともと野外活動には興味がある家族と考えられるため、今回事業も積極的に参加いただけたと考えられる。しかし、すでに行動予定が入っていた家族からは、本事業に参加できず残念との声も聴かれた。

#### ◆企画のポイント

- ・夕日の広場のリニューアルオープンイベントとして、今後の同施設の利用促進を図ることを一つの目的としたため、家族対象の野外料理の入門編としてプログラムを構成した。
- ・学校キャンプと違う家族・小グループのキャンプ用具として、ダッチオープンを紹介した。

#### ◆運営のポイント

- ・初めての家族でも、プログラム（料理）進行がわかるように、写真入りの料理手順書を作成し、配布した。
- ・子供の体験を重要視し、プログラムの最初に、家族内の分担や、子供の作業を見守ってほしい旨を説明し働きかけた。

#### ◆安全管理のポイント

- ・ダッチオープンでの火の扱い、ナタの扱いなどは、職員が最初に手本を示し、安全上のポイントを伝えた上で活動に入っていた。

### 3. アンケート結果

（4満足 3やや満足 2やや不満 1不満）

参加者	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	100%	0%	0%	0%

### 4. 成果と課題

(1) 成果

- ・家族での体験活動を普及する観点では、キャンプ道具の一つとしてダッチオーブンを活用した料理を知っていただき、「ぜひ購入したい」との声が多く、今後、それぞれの家族での自然体験活動の展開が期待できる。

(2) 課題

- ・当日、荒天が予想（強風）されたため、夕日の広場での活動を中止し、海の学習棟に変更して行った。実際に夕日の広場を研修支援で利用するとき、同様の天候が予想されるときにどうするか、考えさせられる結果となった。  
（例えば、柱と柱の間に壁の代わりにブルーシートを張る、など）
- ・夕日の広場でのキャンプ活動を提供するにあたって、道具が不足している。  
今後、寄附金などを活用し予算だてをし、少しずつでも道具をそろえていく必要がある。

5. 活動の様子

